

平成23年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会 冬作研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・水田作畑作部会長 中央農研 生産体系研究領域長 渡邊好昭
同副部会長 作物研 稲研究領域長 根本博

1. 趣旨

関東東海地域における冬作物の生産性や品質の向上、生産体系の改善を図るための研究計画や試験研究戦略について検討し、作物育種研究、栽培・品質研究及び作業技術体系を核とした試験研究の情報交換や課題化の推進を行う必要がある。ここ数年来、播種時期や収穫時期の降雨による作業の遅延や収穫の遅れ、春先の低温による生育の停滞など、気象変動による生育・収量・品質への影響が顕著になっている。そこで、近年の気象変動の特徴と麦類の生産に及ぼす影響、生産現場における生育・収量・品質の現状、さらには気象変動に対する栽培管理の対応技術について検討し、試験・研究への方向や研究課題の設定につなげるための議論を行う。

2. 開催日時 平成23年9月15日(木) 13:15~16日(金) 12:00

3. 開催場所 中央農業総合研究センター 大会議室

4. 議 事

1) 開会挨拶(9/15、13:15~30) 水田作畑作部会長

2) 重点検討事項の検討(13:30~17:00)

「気象変動が麦類の生産に及ぼす影響と、収量・品質安定化のための対応技術」

(1) 「近年の気象変動と小麦作への影響について」

中央農業総合研究センター 情報利用研究領域

主任研究員 中園 江

(2) 「茨城県での麦類の登熟期間中における気象要因と子実の充実程度について」

茨城県農業総合センター農業研究所 水田利用研究室

技師 寺門ゆかり

(3) 「栃木県における気象変動による麦類の生育への影響と安定生産にむけた技術対応」

栃木県農業試験場 作物技術部 麦類研究室

主任研究員 鈴木康夫

(4) 「埼玉県からの報告(演題未定)」

埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所

主任研究員 箕田豊尚

(5) 「三重県におけるコムギ黒節病の発生状況とその対策技術について」

三重県農業研究所 作物研究課

主任研究員 山川智大

(6) 総合討論

3) 新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告(9/16、9:00~11:00)

4) その他(11:00~12:00)

5. 参集範囲：農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、作物研究所、中央農業総合研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先 (事務局)

中央農研 温暖平坦地水田輪作研究 (関東水田輪作) グループ 渡邊和洋

電話 : 029-838-8822 FAX : 029-838-8484

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

7. その他

資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。

今年度の当研究会における懇親会は、例年の実施している共同利用施設食堂が東日本大震災の影響で利用できないため、市内のホテルでの開催となることにご留意ください。

なお、昼食については、いつもどおり共同利用施設食堂をご利用いただけますが、夕食は予約制 (13時頃までに)、さらに朝食の営業は休止しております。